（様式５－２号）

**技能実習評価試験　受検料自主点検結果報告書（○○年度）**

年　　月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 試験実施機関名 |  |
| 職種・作業名 |  |
| １．受検料  （１）会員と非会員で受検料が同一の場合   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 等級 | 学科試験 | 実技試験 | 合計 | | 初級 | 円 | 円 | 円 | | 専門級 | 円 | 円 | 円 | | 上級 | 円 | 円 | 円 |   （２）会員と非会員で受検料が異なる場合   |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | 等級 | 学科試験 | | 実技試験 | | 合計 | | | 会員 | 非会員 | 会員 | 非会員 | 会員 | 非会員 | | 初級 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | | 専門級 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | | 上級 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |  |  |  | | --- | --- | | 会員費 |  |   （注）消費税を含めた額を記載すること。  学科・実技の同時受検で受検料が変わる場合、合計の額は一括受検の額を記入すること。一括受検のみ受け付けている場合は、合計欄のみ記入すること。  会員費欄に記入ができない場合は、別に資料を添付すること。 | |
| ２．昨年度からの受検料の見直し  （１）会員と非会員で受検料が同一の場合  a. 受検料の変更はしていない  b. 増額　ある等級のみ（初級／専門級／上級）／全等級  c. 減額　ある等級のみ（初級／専門級／上級）／全等級  （２）会員と非会員で受検料が異なる場合  a. 受検料の変更はしていない  b. 増額　ある等級のみ（初級／専門級／上級）／全等級　　会員のみ／一般のみ／両方  c. 減額　ある等級のみ（初級／専門級／上級）／全等級　　会員のみ／一般のみ／両方  （注）該当するものに○印を付けること。 | |
| ３．昨年度の試験業務に係る収支の状況  （注）昨年度の受検料収入と試験業務に要した支出（試験業務の継続的実施のための現預金の積み立て分等を含む。）の状況、収支結果を踏まえ受検料を変更する（変更しない）こととした理由について説明すること。  上記説明の根拠となる収支結果が分かる資料（例：正味財産増減計画書内訳表、財務諸表に対する注記等）を添付すること。 | |
| ４．会員と非会員で受検料が異なる場合、その理由（差額の計算根拠）  （注）試験業務に係る会計予算において、会員費からの繰入収入がある場合には、当該繰入収入と、会員・非会員の受検料収入の差額とを比較し、その状況を説明すること。 | |